

# フレッツフォン VP1000 取扱説明書 追加補足版 (1版)

このたびは、フレッツフォン VP1000をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
ございます。

本書は、発売以降に機能追加となった以下の機能について、説明しています。

- 1章 「ひかり電話」対応機器（RT-200、AD-200シリーズ）を利用した「ひかり電話」機能
- 2章 「メモ帳の共有」機能強化（「ホワイトボード」機能）
- 3章 プリンタ接続機能

なお、上記の追加機能をご利用いただくためには、本商品のファームウェアバージョンを最新にさせていただく必要があります。

本商品では、起動時に最新ファームウェアへの更新情報の確認を行います。最新ファームウェアが存在する場合、アップデートするかを確認する画面が表示されますので、「はい」を選択してアップデートしてください。

「更新情報はありませんでした。」と表示された場合、ご利用の本商品のファームウェアが最新のものになっていますので、アップデートの必要はありません。

「更新情報の取得に失敗しました。」と表示された場合、機器やLANケーブル等の接続をご確認ください。

ご不明な点がある場合は、NTTビジュアル・サポート・デスク（VSD）までお問い合わせください（本書P.38をご覧ください）。

本書と、本商品に付属のマニュアルをあわせてご覧ください。

# 目次

<b>1章 「ひかり電話」対応機器（RT-200、AD-200シリーズ） を利用した「ひかり電話」機能</b> .....	<b>3</b>
1. ご利用機能の紹介 .....	3
2. ご利用上の留意事項 .....	4
3. 本商品ご購入時に「ひかり電話」の設定を行う場合の手順 .....	6
4. 既にテレビ電話サービスをご利用中の本商品に 後から「ひかり電話」の設定を行なう場合の手順 .....	10
5. 「ひかり電話」とテレビ電話サービスの 併用時における発信時に優先的に利用するサービスの設定手順 .....	12
6. 電話をかけるには .....	15
7. 音声通話の保留 .....	16
8. キャッチホンを利用するには .....	17
9. 内線通話を利用するには .....	17
10. 通話を他の内線端末へ転送するには .....	18
11. 内線番号を設定するには .....	20
12. 電話番号の確認 .....	22
<b>2章 「メモ帳の共有」機能強化（「ホワイトボード」機能）</b> .....	<b>23</b>
1. ご利用機能の紹介 .....	23
2. ご利用上の留意事項 .....	23
3. 真っ白な画面から「ホワイトボード」機能を開始する場合の手順 .....	24
4. 既に描画している画面から「ホワイトボード」機能を開始する場合の手順 .....	26
5. 「ホワイトボード」機能の開始要求を受けた場合 .....	28
6. 「ホワイトボード」機能の開始拒否を受けた場合 .....	28
7. ファームウェアバージョン 1.310以前の「フレッツフォン VP1000」 を利用している相手と「ホワイトボード」機能を利用した場合 .....	29
<b>3章 プリンタ接続機能</b> .....	<b>30</b>
1. ご利用機能の紹介 .....	30
2. 最初に行っていただくこと .....	30
3. 「ブラウザ」で表示しているインターネット画面を印刷する場合 .....	33
4. 「メモ帳」の描画データを印刷する場合 .....	35
5. ご利用上の注意点 .....	37
<b>お問い合わせ</b> .....	<b>38</b>

# 1章「ひかり電話」対応機器（RT-200、AD-200シリーズ）を利用した「ひかり電話」機能

## 1. ご利用機能の紹介

本商品では、付属のマニュアルに記載しているIP電話・テレビ電話サービスに加えてNTT東日本／NTT西日本が提供しているIP電話サービス「ひかり電話」がご利用いただけます（ファームウェアバージョン2.000以上）。

### ■「ひかり電話」（ビジネスタイプを除く）

現在お使いの電話番号がそのまま使えるIP電話サービスです。

緊急通報（110番、118番、119番）への発信が可能です。

本商品では、「ひかり電話」契約者およびFOMA®（※1）契約者とのテレビ電話（※2）が可能です。

「ひかり電話」の提供エリアおよびサービス内容の詳細については、以下のホームページをご確認ください。

NTT東日本 <http://www.ntt-east.co.jp/t/>

NTT西日本 <http://flets-w.com/hikaridenwa/>

本商品では、「ひかり電話」とテレビ電話サービス（※3）を併用して利用することができます。詳細は、本書P.15「1章-6 電話をかけるには」をご覧ください。

※1 「FOMA／フォーマ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

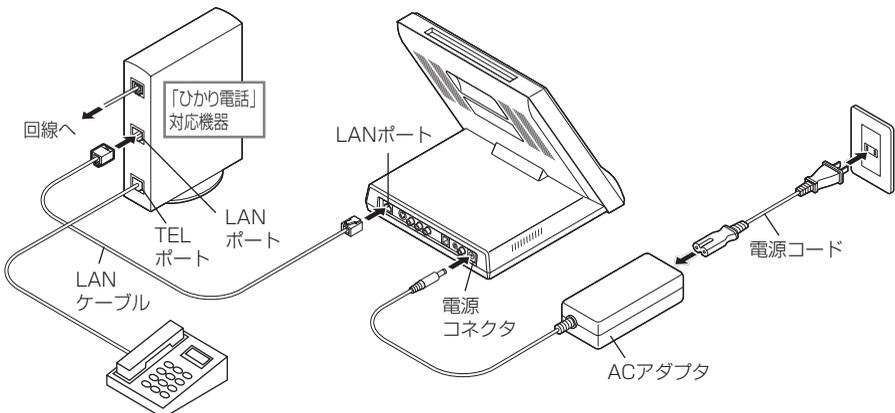
※2 別途、「ひかり電話」のオプション契約（「テレビ電話接続」（NTT東日本）／「テレビ電話」（NTT西日本））が必要です。

※3 テレビ電話サービスとは、プロバイダが提供する「050」番号を利用したテレビ電話サービス、またはNTT東日本が提供するFLET'S.Netナンバー、NTT西日本が提供する「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能のことです。

### ●接続機器について

「ひかり電話」をご利用いただくには、「ひかり電話」の契約が必要です。「ひかり電話」に契約いただくと送付されます「ひかり電話」対応機器に本商品を接続してください。接続構成は以下ようになります。

「ひかり電話」対応機器のファームウェアは、常に最新のバージョンに更新することをお勧めします。



「ひかり電話」対応機器の機能等につきましては、「ひかり電話」対応機器に同梱された取扱説明書をご確認ください。

## 2. ご利用上の留意事項

### ■「ひかり電話」でのテレビ電話利用について

「ひかり電話」のテレビ電話を利用するには、発信・着信ユーザともに「テレビ電話接続」(NTT東日本) / 「テレビ電話」(NTT西日本) 契約が必要です。

「ひかり電話」の「テレビ電話接続」(NTT東日本) / 「テレビ電話」(NTT西日本) のサービス内容の詳細については、「ひかり電話」のホームページをご確認ください。

NTT東日本 <http://www.ntt-east.co.jp/t/>

NTT西日本 <http://flets-w.com/hikaridenwa/>

#### <動作およびサービス利用条件>

- ・「ひかり電話」ユーザとFOMA®ユーザとの間で、テレビ電話が可能になります。なお、「ひかり電話」ユーザどうしの映像通信も可能となります※。
  - ※NTT東日本とNTT西日本の「ひかり電話」ユーザどうしの映像通信はできません。
- ・本商品からの発信は、全てテレビ電話での発信になります。そのため、お客様が音声通信を選択することはできません。ただし、接続先端末が映像通信機能をもたない場合には、音声通信での接続となります。なお、音声通信として接続された場合には、テレビ電話通話料ではなく音声通話料が適用されます。
- ・本商品には、通話開始時の映像ON / OFF選択機能があります。映像OFF (初期設定) でご利用の場合は、通話開始後、[映像送信] ボタンにタッチして映像を送信してください。※映像OFFの状態でも、テレビ電話通信時にはテレビ電話通話料が適用されます。
- ・本商品からFOMA®へ発信する場合には呼び出し音が鳴りません (H17年11月現在)。なお、発信状態を確認するためには、発信中に、本商品の画面上に表示される「発信中」のメッセージをご確認ください。最新情報については、本商品の画面左上の「Flet's Phone HOME」ボタンからリンクされているフレッツフォンに関する情報サイト「フレッツフォンホーム」にてご確認ください。
- ・FOMA®とテレビ電話する場合、相手の電波状態等により、映像や音声の品質が低下したり、切断となる場合があります。
- ・テレビ電話通信の場合は、以下の機能はご利用できません。
  - キャッチホン機能
  - 内線転送機能
  - 保留機能 (映像 / 音声のON / OFF機能は利用できます。)

(参考)「ひかり電話」の付加サービスについて (H17年11月現在)

(1)「ひかり電話」の「テレビ電話接続」(NTT東日本) / 「テレビ電話」(NTT西日本) を利用時  
 の他の付加サービスとの同時契約の可否および動作条件は以下のとおりです。

【凡例 ○：同時契約可 ×：同時契約不可】

サービス名	契約可否	動作条件
キャッチホン	×	—
ボイスワープ	○	テレビ電話通話の転送動作については、「ひかり電話」のホームページにて確認してください(本書P.4をご覧ください)。
ナンバー・ディスプレイ	○	—
ナンバー・リクエスト	○	—
迷惑電話おことわりサービス	○	—
複数チャンネル (ダブルチャンネル)	○	—
追加番号 (マイナンバー)	○	本商品は、追加番号(マイナンバー)ごとに鳴動音を変えることはできません。

(2) 本商品にて「ひかり電話」の「テレビ電話接続」(NTT東日本) / 「テレビ電話」(NTT西日本)  
 契約をしないで「ひかり電話」を利用する場合、他の付加サービスの利用可否および動作条件は以下のとおりです。

【凡例 ○：同時契約可 ×：同時契約不可】

サービス名	契約可否	動作条件
キャッチホン	○	複数チャンネル(ダブルチャンネル)と重畳契約することはできません。
ボイスワープ	○	—
ナンバー・ディスプレイ	○	—
ナンバー・リクエスト	○	—
迷惑電話おことわりサービス	○	—
複数チャンネル (ダブルチャンネル)	○	キャッチホンと重畳契約することはできません。
追加番号 (マイナンバー)	○	本商品は、追加番号(マイナンバー)ごとに鳴動音を変えることはできません。

## ■「ひかり電話」での発信者番号通知について

「ひかり電話」での通常の発信者番号の通知、および非通知は本商品の設定によらず、お客様の「ひかり電話」のご契約内容に従います。「通常非通知」のご契約になっている場合や電話番号の前に「184」をつけてかけた場合は、電話番号は相手に通知されません。

## ■「ひかり電話」をご利用できない場合について

本商品で「企業向けテレビ電話/テレビ会議サービス(H.323)」をご利用のお客様は、「ひかり電話」をご利用いただくことはできません。

本商品で「ひかり電話」と050番号のテレビ電話サービスを併用している場合、ご使用のルータまたは加入者網終端装置(CTU)のUPnP設定が無効になっていると、「ひかり電話」が使用できなくなることがあります。

「ひかり電話」が使用できない場合、ご使用のルータまたは加入者網終端装置(CTU)のUPnP設定を確認してください。

## ■「ひかり電話」対応機器のバージョンアップお知らせ機能について

本商品では、「ひかり電話」対応機器のバージョンアップお知らせ機能をご利用いただけません。バージョンアップお知らせ機能を利用し、最新ファームウェアの更新情報を確認するには、「ひかり電話」対応機器に電話機コードで接続されている電話機にてご確認ください。

## ■「ひかり電話」での内線通信について

「ひかり電話」対応機器に接続されている本商品どうして内線のテレビ電話通信ができます。

内線番号は、初回起動時に「ひかり電話」対応機器から自動で設定されます。

内線番号の設定方法は、本書P.20「1章-11 内線番号を設定するには」をご覧ください。

内線電話の発信方法は、本書P.17「1章-9 内線通話を利用するには」をご覧ください。

※「ひかり電話」対応機器によっては、内線テレビ通話や内線転送機能がご利用いただけない場合があります。詳細は「ひかり電話」のホームページをご確認ください。

NTT東日本 <http://www.ntt-east.co.jp/t/>

NTT西日本 <http://flets-w.com/hikaridenwa/>

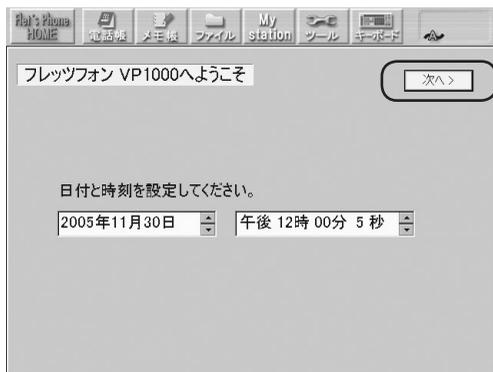
# 3. 本商品ご購入時に「ひかり電話」の設定を行う場合の手順

本商品をご購入いただき、「ひかり電話」とテレビ電話サービスの設定を同時に行なう場合、次の手順で最初に「ひかり電話」の設定を行ってください。

## ■ はじめて本商品をご利用になる場合の「ひかり電話」設定手順

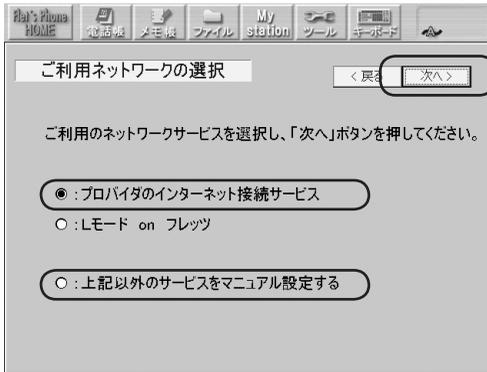
はじめて本商品の電源を入れると、「フレッツフォン VP1000へようこそ」の画面が表示されますので、画面上の案内や本商品に付属のマニュアルを確認しながら設定を行ってください。

### 1 「ひかり電話」設定の手順



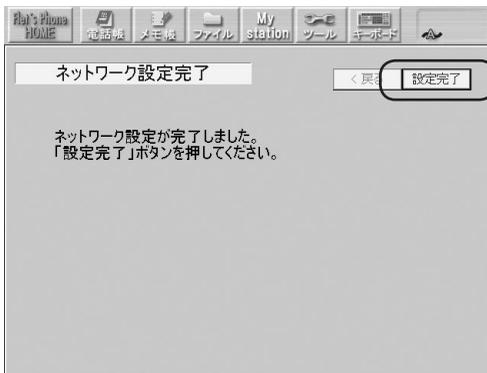
日付と時刻の設定が終わりましたら、[次へ] ボタンにタッチし、「ご利用ネットワークの選択」に進みます。

## 2 ご利用ネットワークの選択



お客様のご利用いただくネットワーク環境にあわせて「プロバイダのインターネット接続サービス」または「上記以外のサービスをマニュアル設定する」をチェックし、[次へ] ボタンにタッチしてください。

## 3 ネットワーク設定の完了

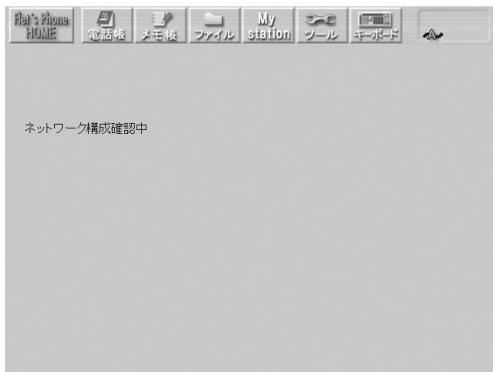


「ネットワークの設定」が完了すると本画面が表示されます。[設定完了] ボタンにタッチしてください。

### こんなときは

- 本画面が表示されず PPPoE の設定画面が表示される場合は、「ひかり電話」対応機器の UPnP 機能が有効になっていない可能性がありますので、UPnP 機能を有効にしてください。詳しくは、「ひかり電話」対応機器に付属の取扱説明書をご覧ください。また、機器や LAN ケーブル等が正しく接続されていない可能性がありますので、接続をご確認ください。

## 4 ネットワーク構成の確認



お客様のご利用いただいているネットワーク構成を確認します。

## 5 「ひかり電話」のご利用



お客様の環境で「ひかり電話」がご利用いただける場合は、本画面が表示されます。

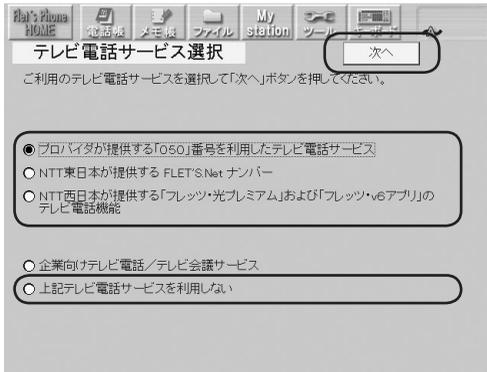
本商品に自動的に設定された内線番号が表示されます。

[次へ] ボタンにタッチしてください。

### こんなときは

- 本画面が表示されない場合は、機器やLANケーブル等が正しく接続されていない可能性がありますので、接続をご確認ください。

## 6 「ひかり電話」と併用するテレビ電話サービスの選択



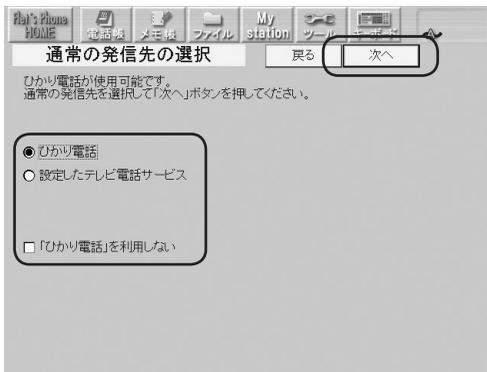
「ひかり電話」と併用するテレビ電話サービスを選択し、[次へ] ボタンにタッチしてください。

「ひかり電話」単独で利用する場合は「上記テレビ電話サービスを利用しない」を選択し、[次へ] ボタンにタッチしてください。

### お知らせ

- 「企業向けテレビ電話／テレビ会議サービス」を選択した場合は、「ひかり電話」をご利用いただけません。

## 7 通常の発信先の選択



「ひかり電話」と併用するテレビ電話サービスのうち、優先して利用する電話サービスを選択し、[次へ] ボタンにタッチしてください。

なお、併用利用時の発信方法は、本書 P.15 「1章-6 電話をかけるには」をご覧ください。

### お知らせ

- 「ひかり電話」を利用しない場合は、「ひかり電話」を利用しない」をチェックしてください。

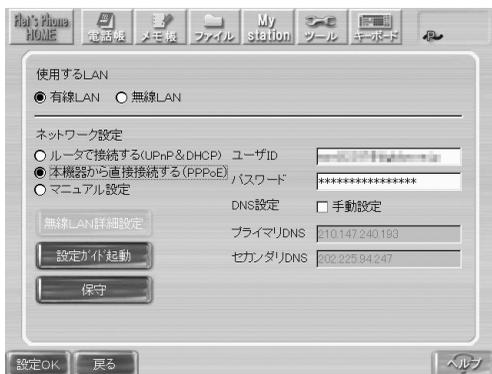
### 「ひかり電話」の設定が完了しました。

以降は「ひかり電話」と併用するテレビ電話サービスの設定になります。引き続き、付属のマニュアルをご覧ください、お客様の環境にあわせて設定を行ってください。

## 4. 既にテレビ電話サービスをご利用中の本商品に 後から「ひかり電話」の設定を行なう場合の手順

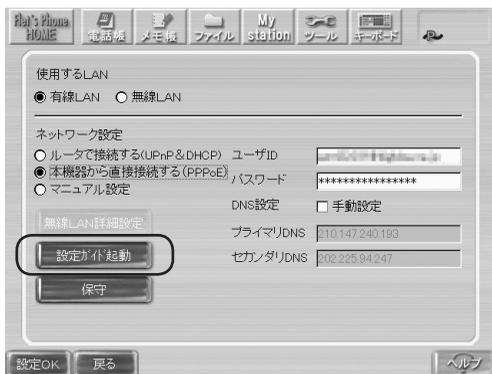
先に本商品でテレビ電話サービスをご利用中のお客様が、新たに「ひかり電話」をご利用いただく場合は、次の手順で設定を行ってください。

### 1 ネットワーク設定の変更



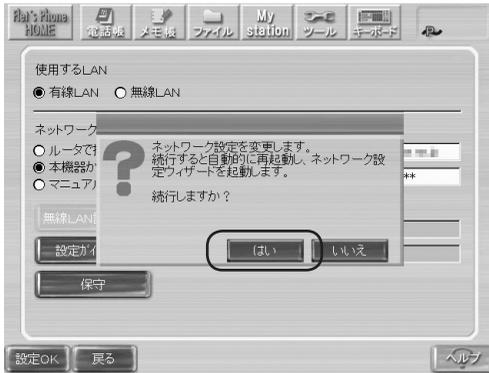
[ツール] → [各種設定] → [ネットワーク] ボタンにタッチしてネットワーク設定画面を表示してください。

### 2 設定ガイドの起動



[設定ガイド起動] ボタンにタッチしてください。

### 3 本商品の再起動



「はい」ボタンにタッチして、本商品を再起動させます。再起動するまでしばらくお待ちください。

再起動しましたら、本書P.6「1章-3 本商品ご購入時に「ひかり電話」の設定を行う場合の手順」の手順1へ進んでください。

# 5.「ひかり電話」とテレビ電話サービスの併用時に おける発信時に優先的に利用するサービスの設定手順

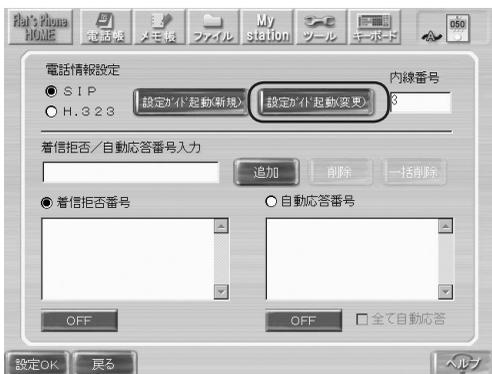
本商品で「ひかり電話」とテレビ電話サービスを併用いただく場合、発信時にどちらのサービスを優先的に利用するかの設定（以下、通常の出発信先）が必要となります。通常の出発信先の設定手順は以下のとおりです。

## 1 電話設定画面の表示



[ツール] → [各種設定] → [電話] ボタンにタッチして電話設定画面を表示してください。

## 2 設定ガイドの起動の準備



[設定ガイド起動(変更)] ボタンにタッチしてください。

### 3 設定ガイドの起動

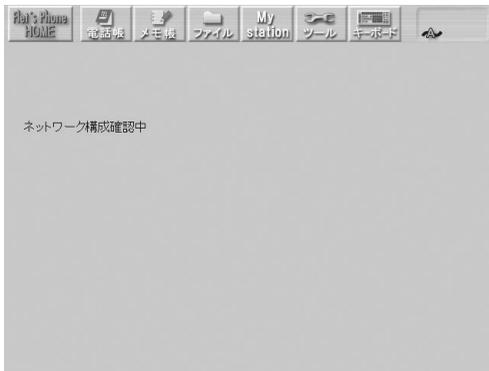


[はい] ボタンにタッチして、設定ガイドを起動させます。設定ガイドが起動するまでしばらくお待ちください。

#### お知らせ

- テレビ電話サービスをご利用でない場合は、本書P.8「1章-3 本商品ご購入時に「ひかり電話」の設定を行う場合の手順」の手順4へ進んでいただき、手順6で「上記テレビ電話サービスを利用しない」を選択してください。

### 4 ネットワーク構成の確認



お客様が利用されているネットワーク構成を確認します。

## 5 「ひかり電話」のご利用



お客様の環境で「ひかり電話」がご利用いただける場合には、本画面が表示されます。

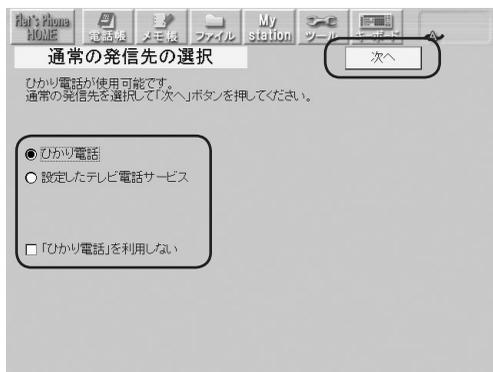
本商品に設定されている内線番号が表示されます。

[次へ] ボタンにタッチしてください。

### こんなときは

- 本画面が表示されない場合は、機器やLANケーブル等が正しく接続されていない可能性がありますので、接続をご確認ください。

## 6 通常の発信先の選択



「ひかり電話」と併用するテレビ電話サービスのうち、優先して利用する電話サービスを選択し、[次へ] ボタンにタッチしてください。

なお、併用利用時の発信方法は、本書 P.15 「1章-6 電話をかけるには」をご覧ください。

### お知らせ

- 「ひかり電話」を利用しない場合は、「ひかり電話」を利用しない」をチェックしてください。

### 「ひかり電話」の設定が完了しました。

以降は「ひかり電話」と併用するテレビ電話サービスの設定になります。引き続き、付属のマニュアルをご覧ください、お客様の環境にあわせて設定を行ってください。

## 6. 電話をかけるには

### 1 利用可能な電話サービス名の表示



画面右の情報ウィンドウ内には、現在利用可能な電話サービス名が表示されます。

ダイヤルした番号は表示されている電話サービスからの発信となります。電話サービス名の前に「\*」がついている場合は、表示されている電話サービスと併用して利用可能な電話サービスがあることを表しています。例えば、左図の場合、「ひかり電話」サービスを優先して使用しますが、050番号などのテレビ電話サービスも併用して使用可能であることを表しています。

### 2 発信先の電話サービスの切り替え



「\*」をタッチすることにより発信先の電話サービスが切り替わります。例えば左図の場合は、050番号からのテレビ電話サービスからの発信になったことを表しています。

再度「\*」をタッチすると元の電話サービスに切り替わります。例えば左図から再度「\*」をタッチすると、発信先の電話サービスは、手順1の「ひかり電話」サービスに変わります。

### お知らせ

- ダイヤル番号入力の途中で「\*」で発信先電話サービスの切り替えをしないでください。発信エラーになります。
- 電話帳や短縮ダイヤルに電話番号を登録する際に、必要に応じて登録する電話番号の先頭に「\*」をつけて再登録してください。
- 他の端末が「ひかり電話」を使用している時、本商品で「ひかり電話」発信すると、「接続先が話中です」と表示されます。

## 7. 音声通話の保留

### 音声通話の保留



「ひかり電話」にて音声通話中、[保留] ボタンにタッチすることで「通話中」から「保留中」に切り替わります。

### 保留の解除



保留中に再度 [保留] ボタンにタッチすると、保留を解除して音声通話に戻ります。

### お知らせ

- [保留] ボタンにすばやく連続でタッチすると正しく保留状態にならない場合があります。
- 保留状態にしたい場合、[保留] ボタンにタッチした後、画面表示が「保留中」に切り替わることを確認してください。

<ハンドセット（オプション）を利用されるお客様の場合>

- ・保留状態でハンドセットをオンフックした場合、通話は切断されません。
- ・保留状態でハンドセットをオフフックした場合、保留状態が解除され、通話状態に変わります。

## 8. キャッチホンを利用するには

### キャッチホンの利用



「ひかり電話」にて音声通話中、別の電話番号から着信があった場合、割り込み音（IIT音：ブップブッ）が聞こえます。

「キャッチ」ボタンにタッチすると、現在の通話を保留にし、新しくかかってきた電話と通話することができます。

「キャッチ」ボタンにタッチすることにより通話先を切り替えることができます。通話先が切り替わると、右上の情報ウィンドウに通話先の電話番号が表示されます。

### お知らせ

- 「キャッチホン」契約と「テレビ電話接続」(NTT東日本)／「テレビ電話」(NTT西日本) 契約は、重畳契約することはできません。
- テレビ電話画面以外を表示している場合、別の電話番号から着信により割り込み音（IIT音：ブップブッ）が聞こえますが、キャッチホンの着信応答はできません。テレビ電話画面に移動してから着信応答してください。
- 「キャッチ」ボタンにすばやく連続でタッチすると正しく通話先が切り替わらない場合があります。「キャッチ」ボタンにタッチした後、右上の情報ウィンドウに表示される電話番号を確認し、通話先が切り替わったことを確認してください。

## 9. 内線通話を利用するには

### 内線電話の発信



「#」をタッチすることにより内線電話発信になります。

引き続き1桁または2桁の数字を入力し、「発信」ボタンにタッチして発信してください。

内線電話の設定については、本書P.20「1章-11 内線番号を設定するには」をご覧ください。

# 10. 通話を他の内線端末へ転送するには

## 1 音声通話の保留



「ひかり電話」にて音声通話中、[保留] ボタンにタッチして通話を保留します。

## 2 転送先番号の入力



「#」の後に転送する相手の内線番号を入力し、[発信] ボタンにタッチします。  
転送相手が着信応答すると内線通話状態になります。

### 3 転送の実行



[切る] ボタンにタッチすることで、現在保留している電話を転送できます。

転送先で [切る] ボタンにタッチした場合、現在保留している電話に戻ります。

#### お知らせ

- 着信拒否に登録してある番号であっても内線転送されてきた場合、着信を拒否できません。

# 11. 内線番号を設定するには

内線番号の設定方法には自動設定と手動設定の2種類があります。内線番号の設定手順は以下のとおりです。

## 1 電話設定画面の表示



[ツール] → [各種設定] → [電話] ボタンにタッチして電話設定画面を表示してください。

自動設定する場合、手順2へ進んでください。

手動設定する場合、手順4へ進んでください。

### <内線番号を自動設定する場合>

## 2 設定ガイドの起動の準備



[設定ガイド起動(新規)] ボタンにタッチしてください。

### お知らせ

- 設定ガイドを起動する前に、あらかじめ「ひかり電話」対応機器で内線番号の設定を確認してください。

### 3 設定ガイドの起動



「はい」ボタンにタッチして、設定ガイドを起動させます。

設定ガイドが起動するまでしばらくお待ちください。

設定ガイドが起動しましたら、本書P.8「1章-3 本商品ご購入時に「ひかり電話」の設定を行う場合の手順」の手順4へ進んでください。

#### <内線番号を手動設定する場合>

### 4 内線番号の入力



画面右上の内線番号入力エリアに任意の内線番号を入力してください。入力可能な数字は「1」～「99」です。

#### お知らせ

- 「ひかり電話」対応機器に設定されている内線番号の範囲外を設定すると「内線番号設定エラー」が表示され、設定できません。「ひかり電話」対応機器の内線番号設定を確認の上、再度本商品の内線番号を設定してください。
- 内線番号を手動設定する前に「ひかり電話」対応機器の内線番号設定を確認してください。「ひかり電話」対応機器に接続している他の電話機等と重複した内線番号を設定すると、「ひかり電話」対応機器との通信がエラーになります。
- 空白にすると、内線番号が自動設定されます。

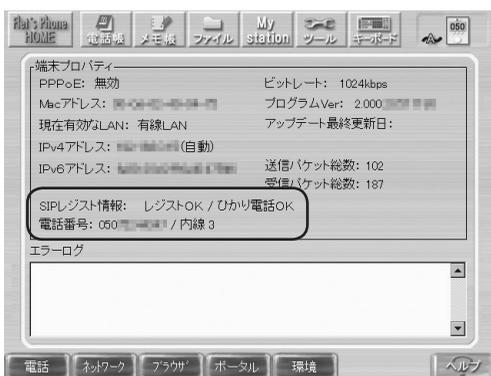
## 5 設定の反映



画面左下の「設定OK」ボタンにタッチすると設定内容が反映されます。

設定が反映されるまでしばらくお待ちください。

## 12. 電話番号の確認



[ツール] → [各種設定] ボタンにタッチして、端末プロパティを表示します。電話番号は下表のように表示されます（「ひかり電話」の電話番号は本商品では表示されません）。

項目	場合	「ひかり電話」のみ設定している場合	「ひかり電話」とテレビ電話サービスの両方を設定している場合
SIPレジスト情報		ひかり電話OK	レジストOK / ひかり電話OK
電話番号		内線番号	テレビ電話サービスの電話番号 / 内線番号

## 2章「メモ帳の共有」機能強化（「ホワイトボード」機能）

### 1. ご利用機能の紹介

本商品では、付属のマニュアルに記載している「メモ帳の共有」機能の強化を図り（「ホワイトボード」機能）、リアルタイムに相手とメモ帳の画面を共有し合えるようになりました（ファームウェアバージョン 1.400以上）。

#### ■「メモ帳の共有」機能強化（「ホワイトボード」機能）

本商品どうして通話している時に、ひとつの画像を通話相手とリアルタイムで共有することができます。タッチペンで描いた文字や図形によるコミュニケーションが可能となります。

### 2. ご利用上の留意事項

#### ■「ホワイトボード」機能が使用できない場合について

「ホワイトボード」機能を利用する双方の「フレッツフォン VP1000」のファームウェアバージョンが1.400以上である必要があります。また、本商品で「企業向けテレビ電話／テレビ会議サービス（H.323）」および「ひかり電話」をご利用のお客様は、「ホワイトボード」機能を利用できません。電話回線切断中は、「ホワイトボード」機能を利用できません。

#### ■無線LAN環境でのご利用について

無線LAN環境で「ホワイトボード」機能を利用した場合、描画が遅くなったり、フリーハンドの描画が滑らかでなくなることがあります。また、ボタンにタッチして次の画面に移るまでの時間がかかる場合があります。

有線LANで利用するか、「ホワイトボード」機能での描画などの操作をゆっくり行うようにしてください。

### 3. 真っ白な画面から「ホワイトボード」機能を開始する場合の手順

「ホワイトボード」機能をご利用になる場合、まず「ホワイトボード」機能を利用してコミュニケーションをとる相手に電話をかけて、通話状態にしてください。

#### 1 通話中のメモ帳画面



「メモ帳」ボタンにタッチしてメモ帳画面を表示してください。

「共有開始」ボタンにタッチし、「ホワイトボード」機能を選択します。

#### 2 開始画面の選択



「真っ白な画面から始める」が選択されている状態で「はい」ボタンにタッチします。

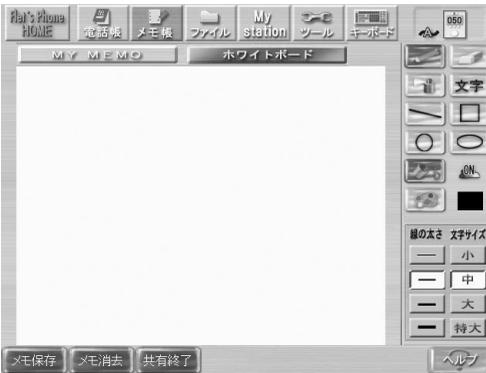
### 3 依頼中画面



通信相手からの「ホワイトボード」機能の開始許可を待ちます。

開始が許可されると、このメッセージは自動的に消去され、「ホワイトボード」機能の共有を開始します。

### 4 「ホワイトボード」機能実行中



「ホワイトボード」機能が実行されました。画面右側のツールボックスから描画ツールを選択して、通話相手と描画を行ってください。

## 4. 既に描画している画面から「ホワイトボード」機能を開始する場合の手順

既に描画している画像を開始画像として「ホワイトボード」機能を始めることができます。開始画像を指定する場合は、次の手順で操作を行ってください。

### 1 開始画像の表示

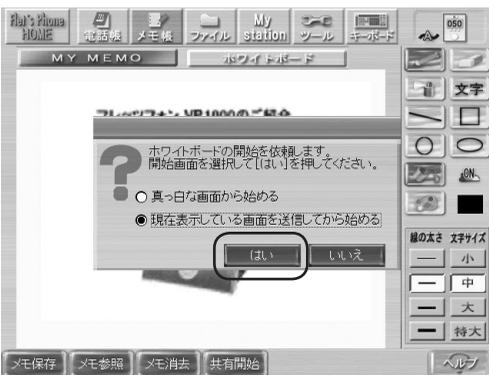


開始画像を自分で描画します。または、[メモ参照] ボタンにタッチして、画像ファイルを選択します。[共有開始] ボタンにタッチし、「ホワイトボード」機能を選択します。

### お知らせ

- 「メモ参照」で参照できる画像の様については、「メモ帳」画面の右下にある [ヘルプ] ボタンにタッチして、参照してください。

### 2 開始画面の選択



「現在表示している画面を送信してから始める」が選択されている状態で [はい] ボタンにタッチします。

### こんなときは

- 双方が同時に「現在表示している画面を送信してから始める」を指定して「ホワイトボード」機能を開始すると、開始時の画像が一致しません。開始時の画像を一致させたい場合は、いったん「ホワイトボード」機能を終了し、一方の端末から再度「ホワイトボード」機能を開始してください。

### 3 依頼中画面



通信相手からの「ホワイトボード」機能の開始許可を待ちます。

開始が許可されると、このメッセージは自動的に消去され、「ホワイトボード」機能の共有を開始します。

### 4 「ホワイトボード」機能実行中



双方が同じ開始画像を表示して「ホワイトボード」機能が実行されました。画面右側のツールボックスから描画ツールを選択して、通話相手と描画を行ってください。

## 5. 「ホワイトボード」機能の開始要求を受けた場合

通話相手から「ホワイトボード」機能の開始要求が通知された場合は、次の操作を行ってください。

### 1 「ホワイトボード」機能の開始要求受信



「ホワイトボード」機能を開始する場合、[はい] ボタンにタッチします。「ホワイトボード」機能を開始しない場合、[いいえ] ボタンにタッチします。

## 6. 「ホワイトボード」機能の開始拒否を受けた場合

通話相手から「ホワイトボード」機能の開始拒否が通知された場合は、次の操作を行ってください。

### 1 「ホワイトボード」機能の開始拒否



通話相手が「ホワイトボード」機能の開始を拒否した場合、拒否通知メッセージが表示されます。[OK] ボタンにタッチし、メッセージを消去します。

## 7.ファームウェアバージョン1.310以前の「フレッツフォン VP1000」を利用している相手と「ホワイトボード」機能を利用した場合

ファームウェアバージョン 1.310以前の「フレッツフォン VP1000」を利用している相手と「ホワイトボード」機能を開始しようとした場合には、共有失敗メッセージが表示されます。「ホワイトボード」機能を利用するには、双方の「フレッツフォン VP1000」のファームウェアをバージョン 1.400以上へアップデートする必要があります。

### 1 「ホワイトボード」機能の共有失敗メッセージの画面



[OK] ボタンにタッチし、メッセージを消去します。

## 3章 プリンタ接続機能

### 1. ご利用機能の紹介

本商品には、「ブラウザ」で表示しているインターネット画面や、「メモ帳」の描画データをプリンタに印刷する機能があります。

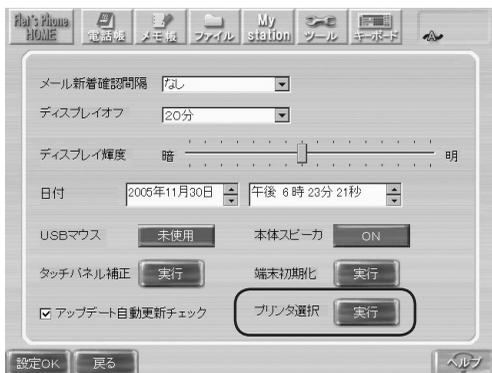
本商品では、ファームウェアバージョン 1.400以上でプリンタ機能が利用できますが、ファームウェアバージョン 2.000から、サポートするプリンタの機種が追加されています。

- ・ HP Deskjet 450cbi (日本ヒューレット・パッカード株式会社)
- ・ OKI MICROLINE 22N (株式会社沖データ)
- ・ サザンクロス プリンタ「PIX3100」(NTT東日本)  
(ファームウェアバージョン2.000よりサポート)
- ・ サザンクロス プリンタ「iP3100」(NTT西日本)  
(ファームウェアバージョン2.000よりサポート)

### 2. 最初に行っていただくこと

ご使用になるプリンタを本商品のUSBポートに接続した後、次の手順で最初にプリンタの設定を行ってください。

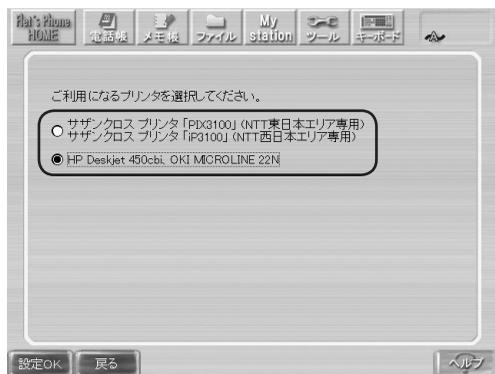
#### 1 プリンタ選択の開始



[ツール] → [各種設定] → [環境] ボタンにタッチして環境設定画面を表示してください。

画面右下のプリンタ選択 [実行] ボタンにタッチしてください。

## 2 ご利用プリンタの選択

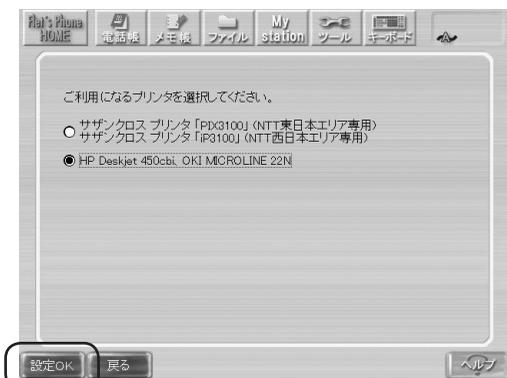


お客様がご利用になるプリンタを選択してください。

### お知らせ

- 初期状態では、「HP Deskjet 450cbi、OKI MICROLINE 22N」が選択された状態になっています。

## 3 プリンタ選択の反映



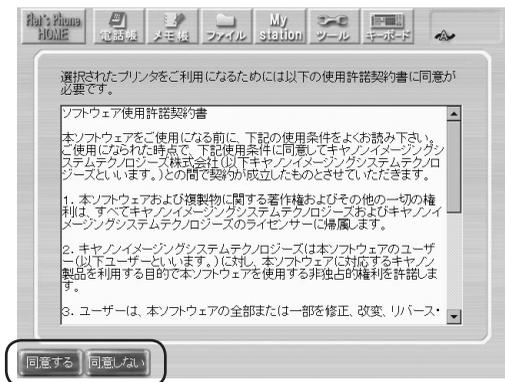
「設定OK」ボタンにタッチしてください。

- ・ 「HP Deskjet 450cbi、OKI MICROLINE 22N」を選択した場合の設定が完了し、プリンタを利用することができます。
- ・ サザンクロスプリンタを選択した場合、次の手順「4 使用許諾契約書への同意」に進んでください。

### お知らせ

- サザンクロスプリンタの使用許諾契約書が表示されるのは、初回選択時のみです。一度サザンクロスプリンタの使用許諾契約書に同意した後は、「設定OK」ボタンにタッチすることでそのまま設定が完了します。

## 4 使用許諾契約書への同意



サザンクロスプリンタをご利用になる場合、使用許諾契約書に同意していただく必要があります(初回のみ)。

- ・ [同意する] ボタンにタッチした場合、設定が完了し、プリンタを利用することができます。
- ・ [同意しない] ボタンにタッチした場合、プリンタの選択画面に戻ります。

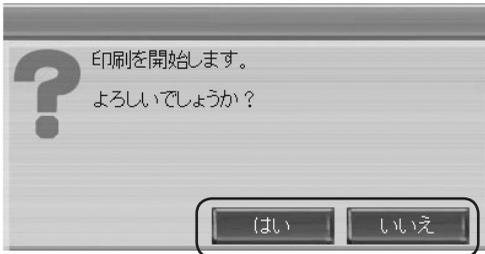
### 3. 「ブラウザ」で表示しているインターネット画面を印刷する場合

#### 1 印刷の開始



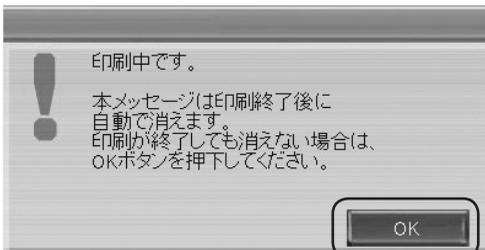
印刷したいページを表示します。  
[印刷] ボタンにタッチしてください。

#### 2 印刷の確認



印刷を開始するための確認ダイアログが画面中央に表示されます。  
印刷を開始する場合、[はい] ボタンにタッチしてください。  
印刷しない場合、[いいえ] ボタンにタッチしてください。

#### 3 印刷中の表示



印刷中は、左記のダイアログが表示されます。  
印刷が終了すると自動的に消えます。

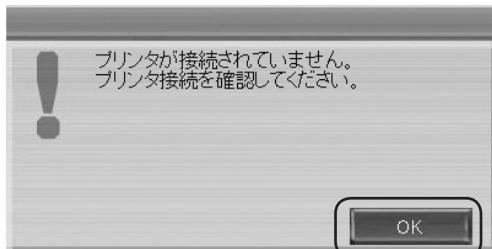
#### こんなときは

- 印刷が終了しても上記ダイアログが消えない場合、[OK] ボタンにタッチしてください。

## 4 エラーの表示

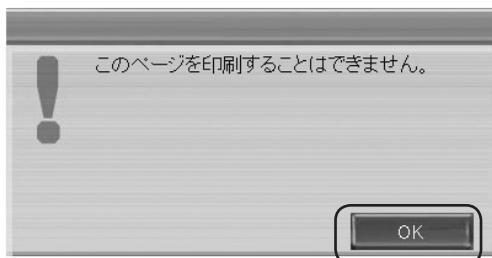
ご利用状況によっては、以下のエラーメッセージが表示される場合があります。

### (1) プリンタが未接続の場合



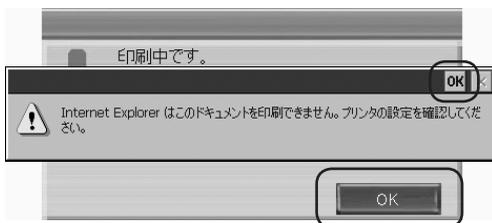
プリンタが未接続かプリンタの電源が入っていないときに表示されます。  
[OK] ボタンにタッチしてください。  
プリンタの接続状態またはプリンタの電源を確認してください。

### (2) 印刷できないデータの場合



[新規] ボタンにタッチして新しいタブを開いた状態や内部・外部メモリまたはメール添付されたファイルを表示している状態において、[印刷] ボタンにタッチした場合に表示されます。  
[OK] ボタンにタッチしてください。

### (3) 印刷中にエラーが出た場合



印刷中のページに何らかの原因があり、印刷できません。[OK] ボタンにタッチして印刷を終了してください。

## 4. 「メモ帳」の描画データを印刷する場合

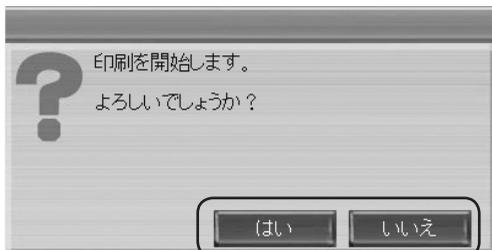
### 1 印刷の開始



印刷したい画像の描画または「ファイル機能」を利用して画像を読み込みます。

[メモ印刷] ボタンにタッチしてください。

### 2 印刷の確認

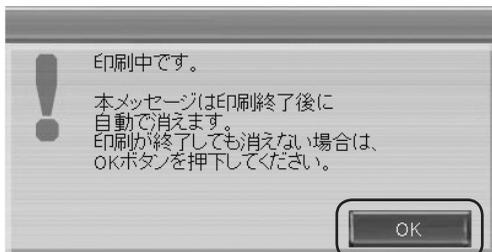


印刷を開始するための確認ダイアログが画面中央に表示されます。

印刷を開始する場合、[はい] ボタンにタッチしてください。

印刷しない場合、[いいえ] ボタンにタッチしてください。

### 3 印刷中の表示



印刷中は、左記のダイアログが表示されます。

印刷が終了すると自動的に消えます。

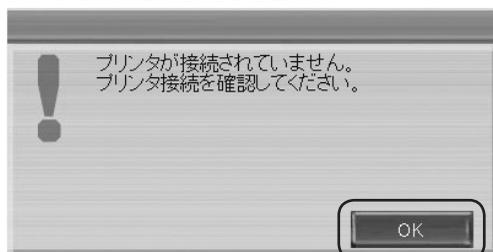
### こんなときは

- 印刷が終了しても上記ダイアログが消えない場合、[OK] ボタンにタッチしてください。

## 4 エラーの表示

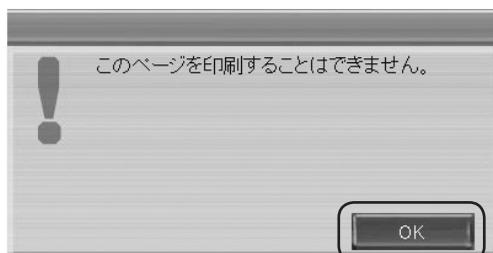
ご利用状況によっては、以下のエラーメッセージが表示される場合があります。

### (1) プリンタが未接続の場合



プリンタが未接続かプリンタの電源が入っていないときに表示されます。  
[OK] ボタンにタッチしてください。  
プリンタの接続状態またはプリンタの電源を確認してください。

### (2) 描画データがない場合



[メモ消去] ボタンにタッチして描画データを削除した後の画面を印刷した場合に表示されます。  
[OK] ボタンにタッチしてください。

## 5. ご利用上の注意点

### (1) 「ブラウザ」、「メモ帳」で印刷する時の共通の注意点

#### ● 通話中の印刷

通話中は印刷することができません。

印刷したい場合、一度通話を切ってから印刷を行ってください。

#### ● 印刷中の着信

印刷中に着信を受けることはできません。

発信側では、話中音（ツー、ツー、ツーという音）が聞こえます。

#### ● プリンタの接続

プリンタを接続したときに、プリンタを認識するまでに時間がかかる場合があります。

プリンタを接続した後、しばらく待ってから印刷を行ってください。

#### ● 印刷中のトラブル

印刷中に「インク切れ」や「紙切れ」等が発生した場合、途中から再試行できません。

印刷の操作を最初からやり直してください。

#### ● USB HUBへの接続

プリンタをUSB HUBへ接続した場合、正しく動作しない場合があります。

本商品のUSBポートに直接接続して印刷を行ってください。

#### ● 複数接続

複数のプリンタを同時に接続しないでください。

#### ● ディスプレイオフ

印刷中にディスプレイオフ状態になると、何らかの操作をしても印刷が終了するまでディスプレイオフ状態から復帰しません。

印刷が終わるまでお待ちください。

### (2) 「ブラウザ」で印刷する時の注意点

#### ● 表示どおりに印刷できない

表示しているWebページによっては、表示どおりに印刷できない場合があります。

ActiveXなどのオブジェクトや背景の画像は印刷されません。

アニメーション GIFは、GIFの最初の画像が印刷されます。

特殊なレイアウトのページは、レイアウトどおりに印刷されない場合があります。

新しいタブの作成時などの空白のページは、印刷できません。

内部・外部メモリやメール添付されたファイルを表示している場合、印刷できません。

### (3) 「メモ帳」で印刷する時の注意点

#### ● ホワイトボード画面の印刷

ホワイトボード画面は、そのままでは印刷できません。

一度 [メモ保存] ボタンにタッチして画面を保存し、MY MEMO画面に移動した後、[メモ参照] ボタンにタッチして保存したファイルを表示してから印刷を行ってください。

## お問い合わせ

本商品機器の接続・設定・お取り扱い方法等に関する相談は、「NTTビジュアル・サポート・デスク（VSD）」へお問い合わせください。

- NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）の方  
お問い合わせ先： 0120-970492  
受付時間：9:00～21:00(12月29日～1月3日を除く)
- NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）の方  
お問い合わせ先： 0120-710494  
受付時間：9:00～21:00(12月29日～1月3日を除く)

# MEMO

